

# サーバー業務支援システム P o s P o s V e r 3

## 第 1 部

周辺機器接続ガイド

OPOS ドライバーインストールガイド

買取業務・販売業務をご使用になる場合、またはレシートプリンタ・ラベルプリンタやカスタマイズディスプレイ・キャッシュドロアを接続して、ご使用になる場合は、エプソンの OPOS ドライバをインストールして下さい。

(商品検索のみで使用する場合は、OPOS ドライバのインストールは必要ありません)

2011年10月25日

有限会社サーバー

プログラム開発元：サーバーシステムズ

## 始めに

この度は、サーバー業務支援システムP o s P o sをお使いいただき誠にありがとうございます。  
下記注意事項をご確認の上ご使用ください。

### <注意事項>

本ソフトウェア製品の著作権は有限会社サーバーが所有します。

本ソフトウェア製品は使用を許諾されるもので、販売されるものではありません。

本ソフトウェア製品の使用で生じたいかなる障害・損害につきましても一切責任をおいしません。

## 目次

はじめに.....	2
目次 .....	3
対応するパソコン環境 .....	4
必要なシステム構成 .....	4
周辺機器について.....	5
動作確認済み周辺機器.....	5
使えるようにするための準備 .....	6
1. EPSON のホームページより OPOS ドライバのダウンロードと解凍 .....	7
2. EPSON OPOS ドライバのインストール .....	11
3. POS 周辺機器の接続 .....	15
4. EPSON OPOS ドライバの設定.....	16
OPOS ドライバの起動 .....	16
レシートプリンタの設定 .....	16
カスタマディスプレイ（ラインディスプレイ）の設定 .....	21
キャッシュドロアの設定 .....	26
ラベルプリンタの設定.....	31
5. TM-L90 の設定について.....	36
TM-L90 のラベル用紙幅の設定 .....	36
TM-L90 の印刷濃度の設定.....	38

## 対応するパソコン環境

### 必要なシステム構成

本ソフトウェアは、下記の環境で動作するように設計されています。

### 動作環境

WindowsXP SP3 日本語版／Windows7 日本語版／VISTA 日本語版のいずれかが動作するパソコン。（注意）本ソフトウェアは、Microsoft Access2010 ランタイムを使用しています。また、データ量によって快適にお使い頂ける環境が違ってきます。下記の動作環境は正常に動くことを確認しています。

		推奨構成
CPU	Pentium3 1GHz 以上	Pentium4 1.3GHz 以上
メモリ	256MB 以上	512MB 以上
ハードディスク	3G 以上の空き容量	←
モニター	800×600 以上のモニター	1024×768 以上
周辺機器	レシートプリンタ (レジ機能として使う場合に必要です。 商品検索だけで使う場合は不要です)	バーコードリーダー カスタマディスプレイ キャッシュドロア ラベルプリンタ

推奨構成のCPU性能、搭載メモリは、データ量（商品アイテム）230,000 タイトル、販売データ 1,000,000 件、買取データ 1,000,000 件で使用して、店頭業務に支障なく使用できる構成です。（弊社直営店で実際に使用しています）

## 周辺機器について

### 動作確認済み周辺機器

下記のPOS周辺機器は、当社で動作を確認しています。

周辺機器	
バーコードリーダー	バーコードをスキャンしたとき、キーボードの数字入力と同じ動きをするバーコードリーダー
レシートプリンタ	エプソン製レシートプリンタ TM-T88Ⅲ(80 ミリタイプ) エプソン製レシートプリンタ TM-T88Ⅳ(80 ミリタイプ) エプソン製レシートプリンタ TM-T70(80 ミリタイプ) エプソン製ラベルプリンタ TM-L90
カスタマディスプレイ (ラインディスプレイ)	エプソン製カスタマディスプレイ DM-D202Ⅱ エプソン製カスタマディスプレイ DM-D210ST エプソン製カスタマディスプレイ DM-D500
キャッシュドロア	エプソン製キャッシュドロア DSA-35ED エプソン製キャッシュドロア DMA-48ED
ラベルプリンタ	エプソン製ラベルプリンタ TM-L90

・TM-T88Ⅱは、エプソン OPOS Ver2.67 ではサポートされていませんが、OPOS のプリンタデバイスを「TM-T88Ⅲ」で登録し「デバイス固有の設定」の「データ送信が完了した時点を印刷完了とする」にチェックをいれることで、使えるようになります。下記（注意1）参照

・バーコードリーダーは、商品にのっているバーコードを利用して商品の検索・販売業務での商品登録・買取業務の商品登録などに使用します。業務の効率化のためにご用意頂くことをお勧めします。

・レシートプリンタは、販売伝票や買取伝票を発行するときに使います。また、点検や精算業務、値札カードの作成、順番待ちレシート・番号レシートの発行など、当ソフトウェアをレジとしてご使用になる場合は、ご用意頂くことをお勧めします。

・カスタマディスプレイは、お客様側に金額を表示するためのものです。その必要が無ければ特に準備されなくてよいと思います。

・キャッシュドロアは、お札や小銭等の現金を入れるものです。レジとして使う場合、あると便利です。

・ラベルプリンタはシールタイプの値札を作成するために使います。シールタイプでの値札の出力が必要でない場合は、レシートプリンタで対応できます。

#### （注意1）

- ・ TM-T88Ⅱを使用して印字する場合、まれに、レシート内容が2重に印刷される不具合があります。
- ・ TM-T88Ⅱを使用する場合は、ファームウェア Ver3.42 以上が必要です。
- ・ TM プリンタのファームウェアバージョンの確認は、セルフテスト(FEED ボタンを押しながら電源を ON)の印刷結果の1行目に印字されます。
- ・ ファームウェアのバージョンアップは、エプソンのインターネットサイト <http://www.epson.jp/support/other/info.htm> へお願いします。

POS 周辺機器につきましては、弊社で特別価格にて販売しております。

POS 周辺機器の接続は、EPSON OPOS ドライバのインストールが終わって接続してください。

## 使えるようにするための準備

サーバー業務支援システム PosPos を使うための準備は次の手順で行います。

1. EPSON のホームページより OPOS ドライバのダウンロード
2. EPSON OPOS ドライバのインストール
3. POS 周辺機器の接続
4. EPSON OPOS ドライバの設定
5. サーバー業務支援システム PosPos のインストール  
(マニュアル「第 2 部 サーバー業務支援システム PosPos インストールガイド」を参照下さい)
6. サーバー業務支援システム PosPos の初期設定  
(マニュアル「第 2 部 サーバー業務支援システム PosPos 初期設定ガイド」を参照下さい)

# 1. EPSON のホームページよりOPOSドライバのダウンロードと解凍

P O S 周辺機器を制御するためのドライバ(EPSON OPOS ドライバ)をダウンロードします。  
レシートプリンタ・カスタムディスプレイ・キャッシュドロア・ラベルプリンタのOPOS 周辺機器の制御に使用します。これらの周辺機器を制御するドライバはP O S 製品にはついていません。エプソンのホームページより対応したドライバを入手してください。

## OPOSドライバの入手先

インターネットを利用して、エプソンの WEB サイトから「EPSON OPOS ADK Ver2.67J」か「EPSON OPOS ADK Ver2.68J」をダウンロードします。  
当ソフトウェアは、Ver2.67J と Ver2.68J で動作を確認しています。

ダウンロード先 <http://www.epson.jp/download/>



インターネットに接続し、  
<http://www.epson.jp/download/>にアクセス  
 します。  
 (クリック)  
 「POS 端末」をクリックします。



(クリック)  
 「POS 用端末・POS 周辺機器」の  
 「ドライバ・ソフトウェア」をクリックしま  
 す。



(クリック)  
 「EPSON OPOS ADK」をクリックします。

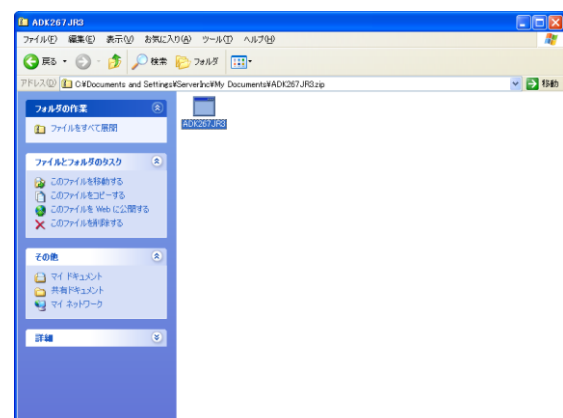
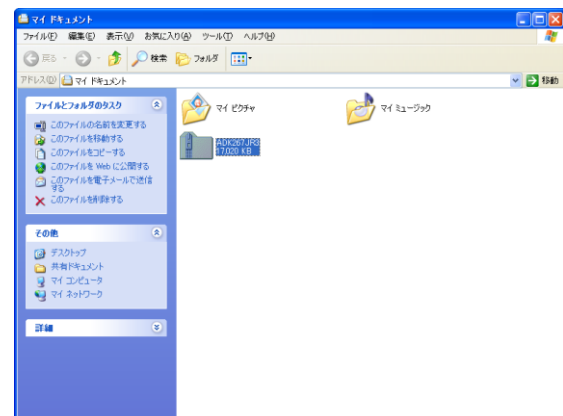
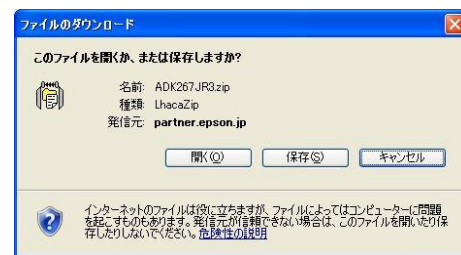




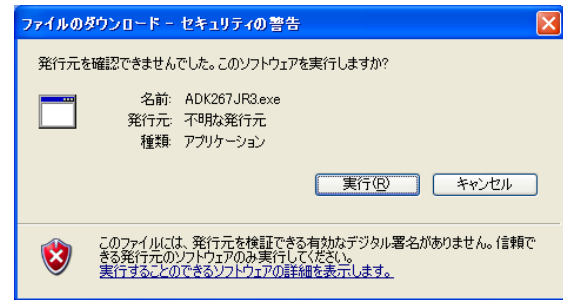
(クリック)  
「EPSON OPOS ADK Ver2.67J R3」をクリックします。

(クリック)  
「EPSON OPOS ADK Ver2.67J R3」のダウンロードをクリックします。

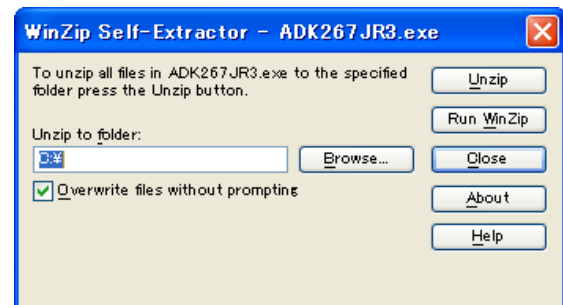
画面の指示にしたがい、会員登録をされログインして下さい。



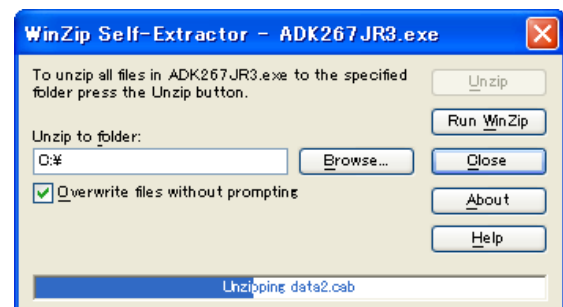
(クリック)  
「承認してダウンロード」をクリックしてください。



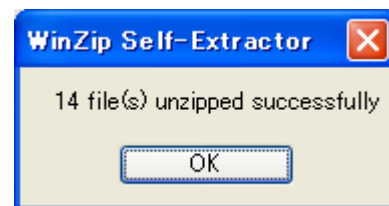
(クリック)  
「保存」をクリックします。



(ダブルクリック)  
保存先の「ADK267JR3」ファイルをダブルクリックします。



(ダブルクリック)  
「ADK267JR3」をダブルクリックします。



(クリック)  
「実行」 ボタンをクリックします。

(クリック)  
「OK」 ボタンをクリックします。

解凍がはじまります。

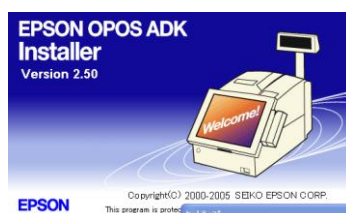
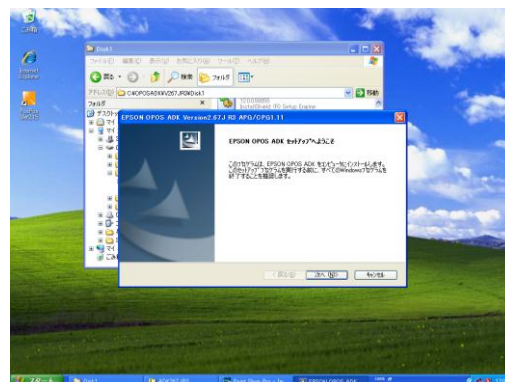
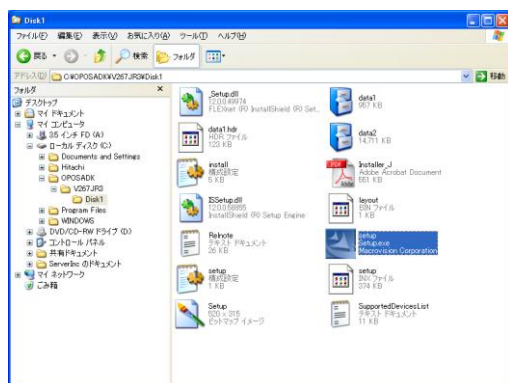
(クリック)  
「Unzip」 ボタンをクリックします。

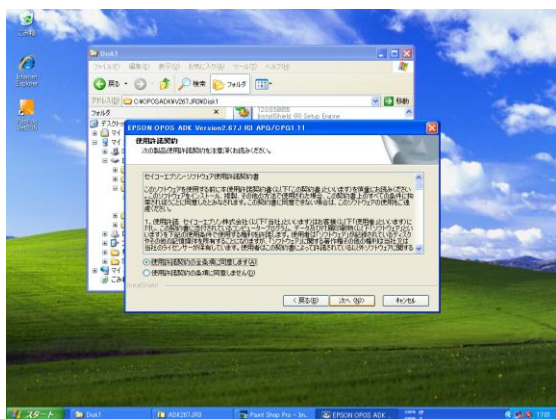
(クリック)  
「OK」 ボタンをクリックします。

解凍が終わりました。

## 2. EPSON OPOS ドライバのインストール

EPSON OPOS ドライバのダウンロードと解凍が終わったら、OPOS ドライバのインストールをします。





(ダブルクリック)

C: ¥を¥に変更していなければ、下記フォルダ  
の中の「Setup」をダブルクリックします。

解凍先フォルダ

C:¥OPOSADK¥V267JR3¥disk1

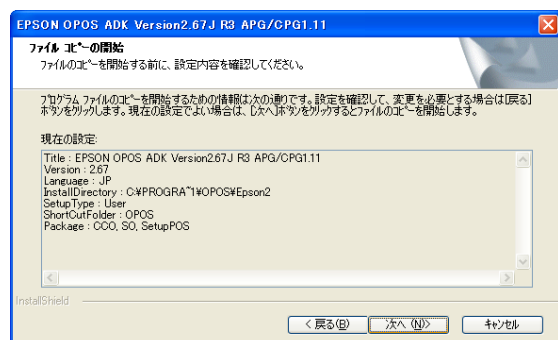
インストールが始まります。

(クリック)

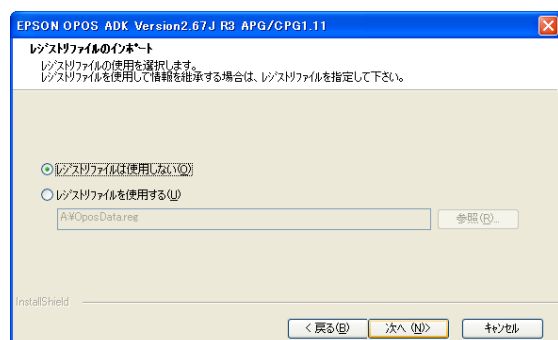
「次へ」 ボタンをクリックします。

(クリック)

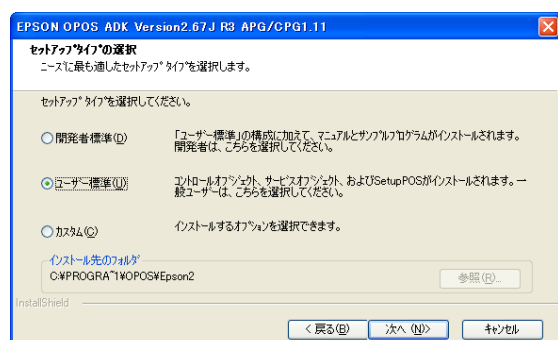
「使用許諾に同意します。」を選択して  
「次へ」 ボタンをクリックします。



(クリック)  
「次へ」ボタンをクリックします。

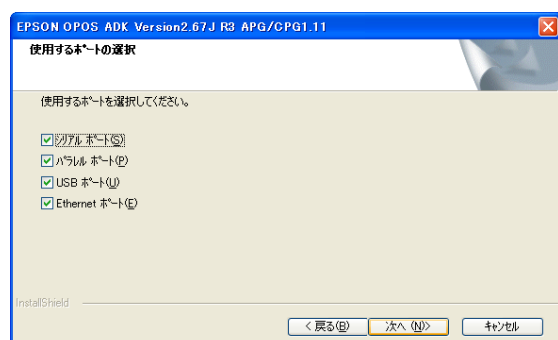


(クリック)  
「次へ」ボタンをクリックします。



ユーザー標準を選択します。

(クリック)  
「次へ」ボタンをクリックします。

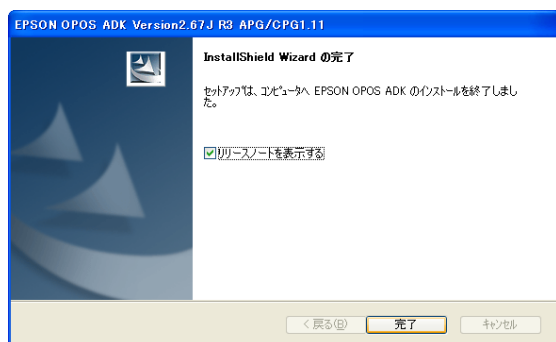


使用するポート（POS周辺機器を接続するポート）にチェックを入れます。全てにチェックが入っていても問題ありません。

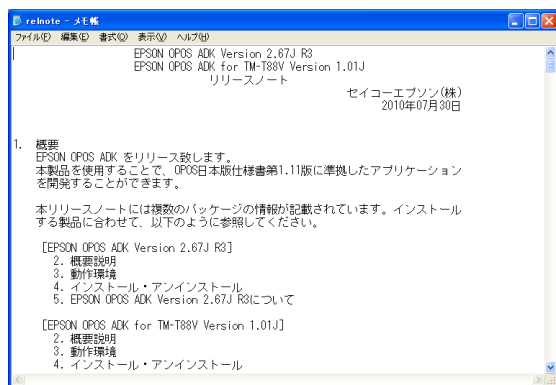
(クリック)  
「次へ」ボタンをクリックします。



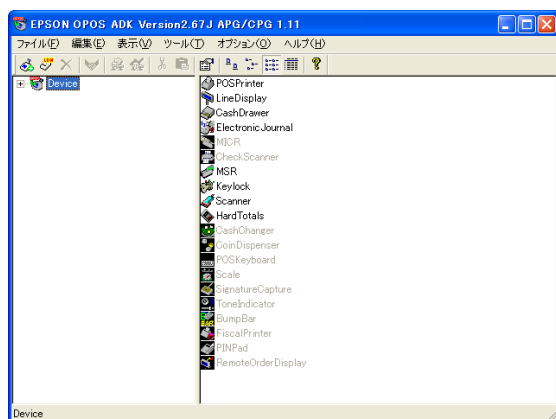
インストールが始まります。



(クリック)  
「完了」 ボタンをクリックします。



(閉じる)  
メモ帳が開き、リリースノートが表示されますので、メモ帳を閉じてください。



OPOS ADK のインストールが終わり、  
左の画面が表示されます。

POS 周辺機器の接続に進んで下さい。

### 3. POS 周辺機器の接続

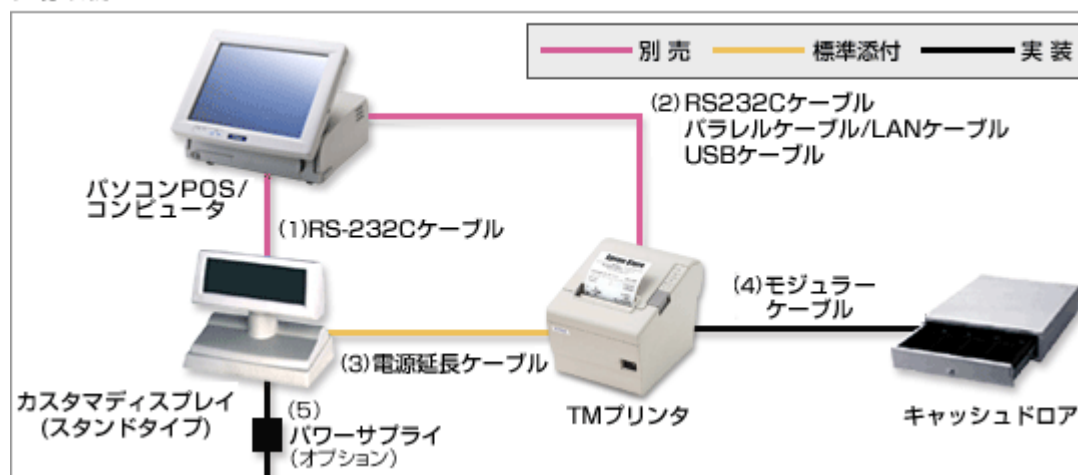
周辺機器の接続について

POS 周辺機器の接続は、EPSON OPOS ドライバのインストールが終わって接続してください。  
ご使用のパソコン本体と POS 周辺機器を接続します。  
エプソンのホームページを参考に周辺機器を接続してください。

<http://www.epson.jp/products/tm/setsuzoku/index.htm>

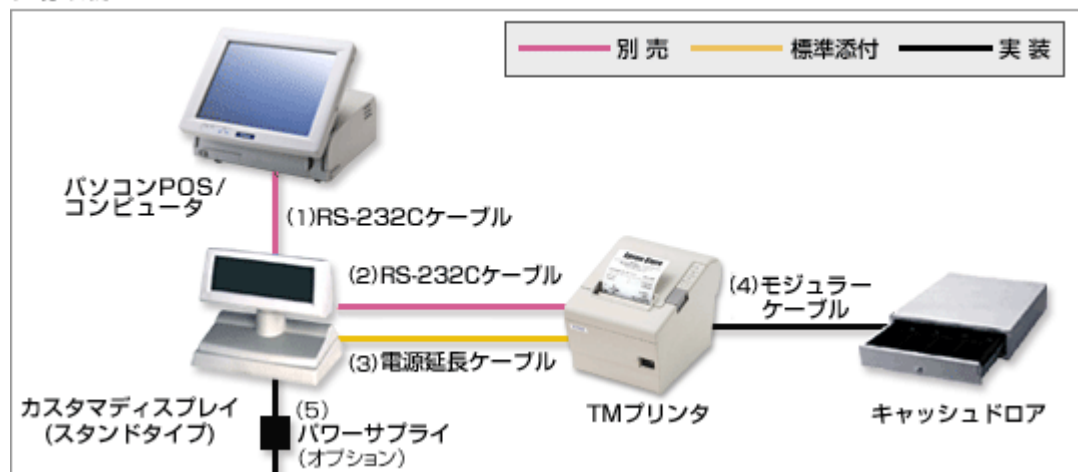
USB・パラレル接続の場合

配線接続例



シリアル接続の場合

配線接続例

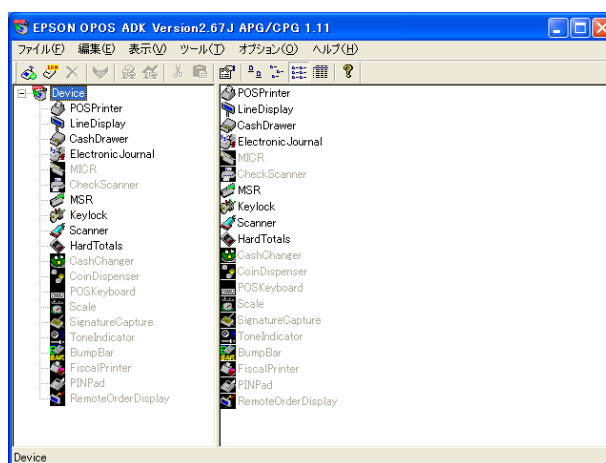


## 4. EPSON OPOS ドライバの設定

### OPOS ドライバの起動

Windows の「スタート」－「すべてのプログラム」－「OPOS」から「SetupPOS Ver2.0」をクリックして起動させます。

「EPSON OPOS ADK Version2.67J APG/CPG1.11」下図（インストールしたバージョンによって少し違います）が表示されます。



### レシートプリンタの設定

以下の設定例では、エプソン製レシートプリンタ、TM-T88IVを例にとって設定します。




（クリック）  
「Device」の前にある「+」をクリックします。

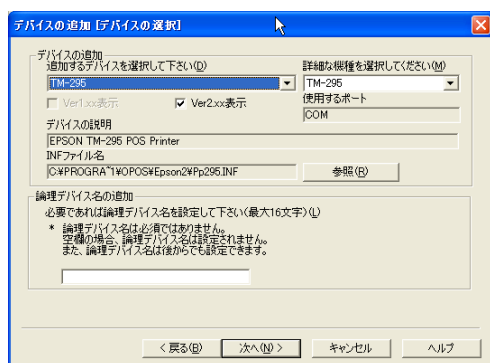


（クリック）  
「POSPrinter」をクリックして選択状態にして下さい。

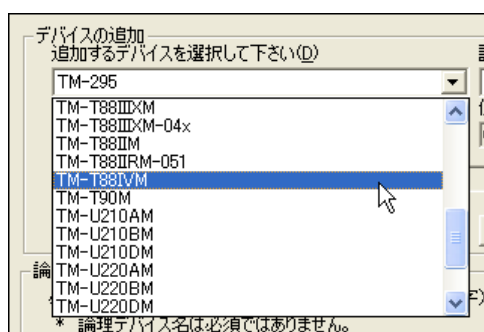




(クリック)  
ツールバー上のデバイスの追加ボタンをクリックします。



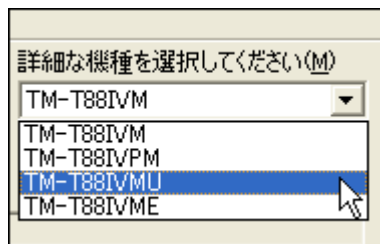
「デバイスの追加 [デバイスの選択]」フォームが表示されます。



(選択)  
「追加するデバイスを選択して下さい」のリストから使用するレシートプリンタを選択します。



(確認)  
左図のように選択した機種が表示されます。



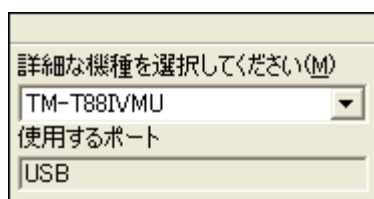
(選択)

「詳細な機器の設定」リストから詳細な機器を選択して下さい。

左画面は

TM-T88IVM	シリアル接続の機器
TM-T88IVPM	パラレル接続の機器
TM-T88IVMU	USB 接続の機器
TM-T88IVME	ネットワーク接続の機器

となっています。

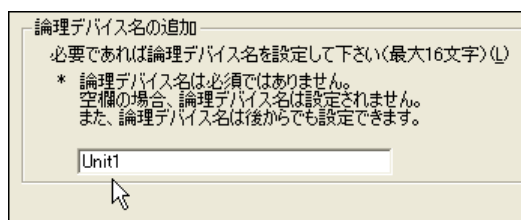


(確認)

使用するポートに選択結果が表示されます。

設定例では

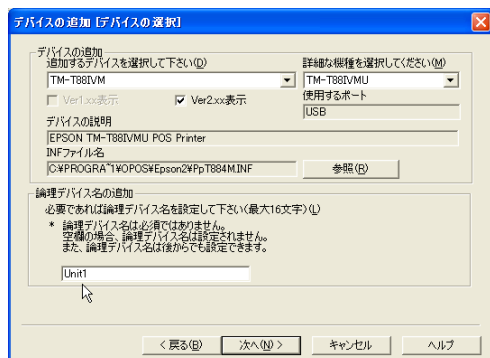
TM-88IV の USB 接続に設定しています。



(入力)

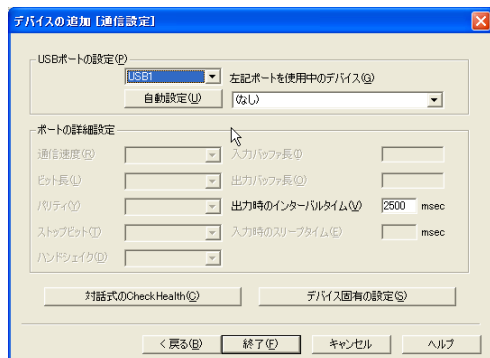
「論理デバイス名の追加」に半角英数字で「Unit1」と入力します。

注意：U は大文字で入力して、あとの nit1 は小文字で入力します。



(クリック)

「次へ」ボタンをクリックします。



「デバイスの追加 [通信設定]」フォームが表示されます。

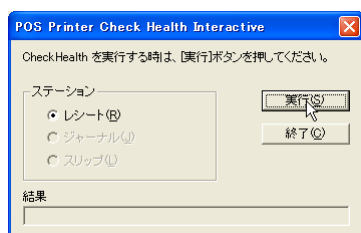


(選択)  
お使いの USB ポートのポート番号を設定します。

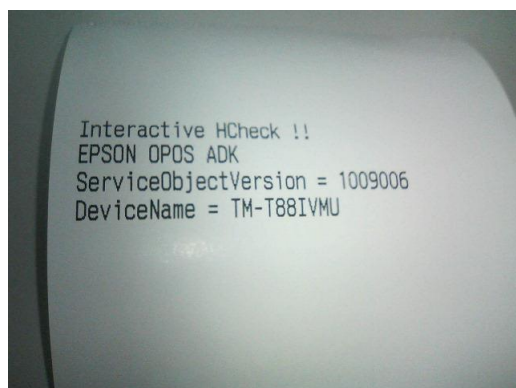


(クリック)  
「対話式の CheckHealth」ボタンをクリックします。

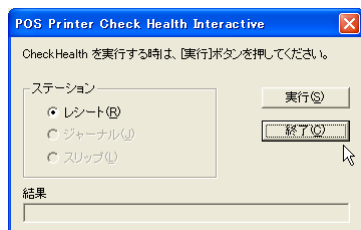
ここでエラーが発生したときは、機器の接続が正しくされているか・USB ポートの設定に間違いがないかを確認して下さい。



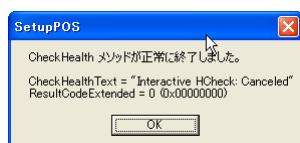
(クリック)  
「実行」ボタンをクリックします。



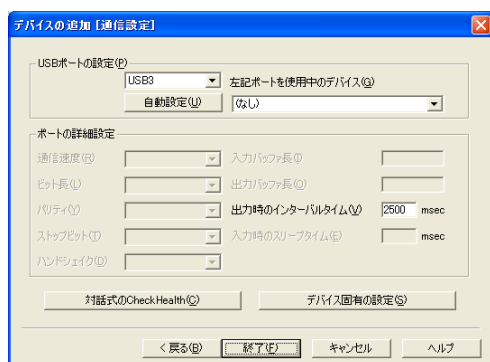
(確認)  
左画面のレシートが出力されます。



(クリック)  
「終了」ボタンをクリックします。

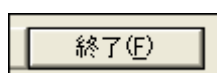


(クリック)  
「OK」ボタンをクリックします。



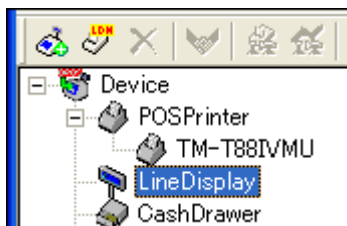
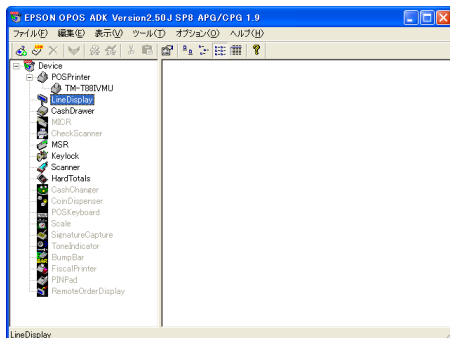
(クリック)  
「終了」ボタンを押して下さい。

注意：必ず「終了」ボタンを押して終了してください。終了ボタンを押さずに、フォーム右上の閉じるボタン「×」でフォームを閉じられますと、設定内容は反映されません。



## カスタマディスプレイ（ラインディスプレイ）の設定

以下の設定例では、エプソン製のカスタマディスプレイ DM-D500 を例にとって設定します。



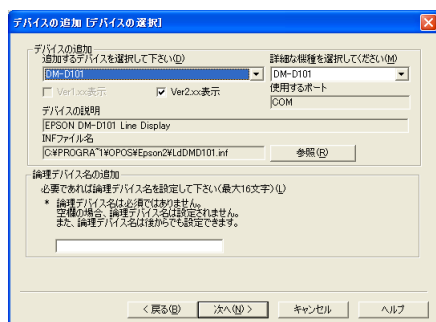
(クリック)

「LineDisplay」をクリックして選択します。

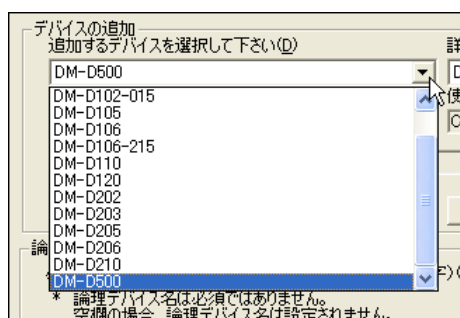


(クリック)

ツールバー上の「デバイスの追加」ボタンをクリックして下さい。



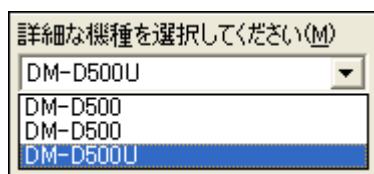
「デバイスの追加 [デバイスの選択]」フォームが表示されます。



(選択)  
「追加するデバイスを選択して下さい。」のリストから使用するカスタムディスプレイを選択します。

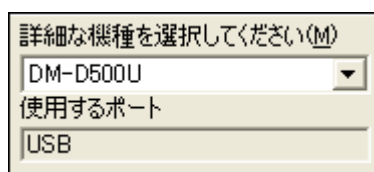


(確認)  
左図のように選択した機器が表示されます。

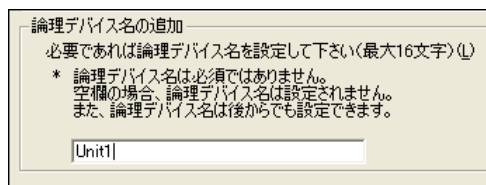


(選択)  
「詳細な機器を選択して下さい」のリストから詳細な機器を選択します。

この例では、USB 接続された TM-T88IV プリンタにカスタムディスプレイを接続していますので、「DM-D500U」を選択しています。「使用するポート」を確認しながら、お使いの機種にあった詳細な機種を選択してください。

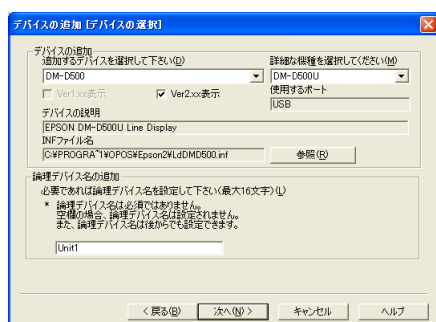


(確認)  
左図のように使用するポートが表示されます。

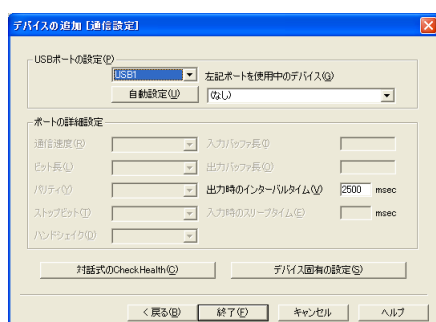


(入力)  
「論理デバイス名の追加」に半角英数字で  
「Unit1」と入力します。

注意：Uは大文字で、他の nit1 は小文字で  
入力します。



(クリック)  
「次へ」ボタンをクリックします。

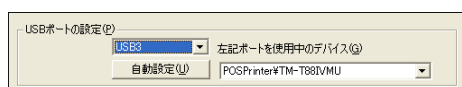


(確認)  
「デバイスの追加 [通信設定]」フォームが  
表示されます。



(選択)  
ご使用のパソコンの USB ポート番号を設定  
します。

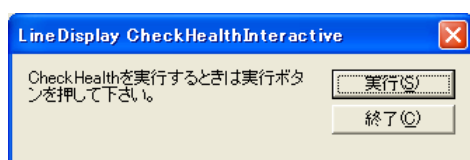
この説明書例では、プリンタを USB 接続し  
て、プリンタにカスタムディスプレイを接続  
していますので、プリンタと同じポートを設  
定します。



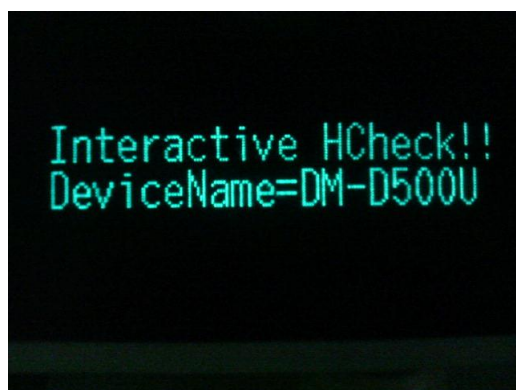
(確認)  
左図のようになります。  
注意：「左記ポートを使用中のデバイス」の  
リスト項目は「POSPrinter#TM-88IVMU」  
になります。



(クリック)  
「対話式の CheckHealth」 ボタンをクリックします。

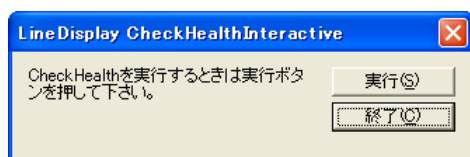


(クリック)  
「実行」 ボタンをクリックします。

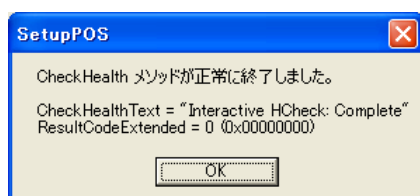


(確認)  
カスタマディスプレイに左図のような文字が表示されたら、正しく接続されています。

正しく接続されていないときは、接続の確認・設定の確認をしてください。

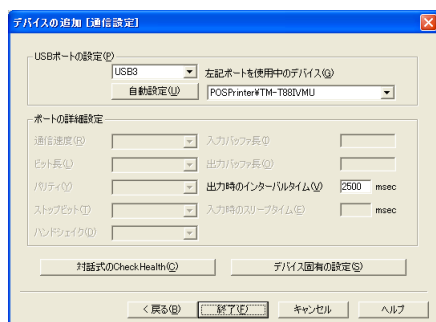


(クリック)  
「終了」 ボタンをクリックします。



(クリック)  
画面に左図のような確認メッセージが表示されます。  
「OK」 ボタンをクリックします。。





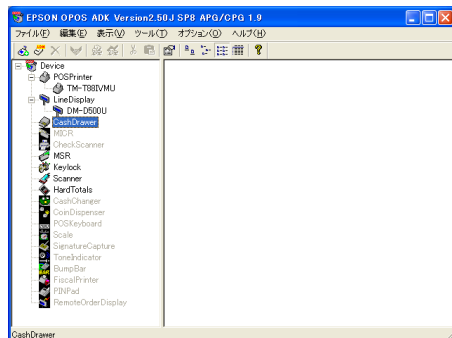
(クリック)  
「終了」ボタンをクリックして下さい。

注意：必ず「終了」ボタンを押して終了してください。終了ボタンを押さずに、フォーム右上の閉じるボタン「×」でフォームを閉じられますと、設定内容は反映されません。

以上でカスタマディスプレイの設定は終了です。

## キャッシュドロアの設定

以下の設定例では、エプソン製のキャッシュドロア DLA-58ED を例にとって設定します。



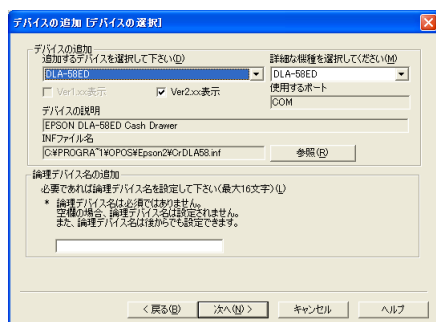
(クリック)

「CashDrawer」をクリックして選択状態にしてください。

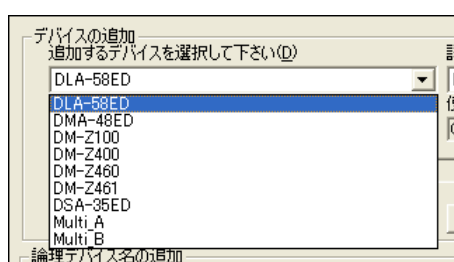


(クリック)

ツールバー上の「デバイスの追加ボタン」をクリックして下さい。



「デバイスの追加 [デバイスの選択]」フォームが表示されます。



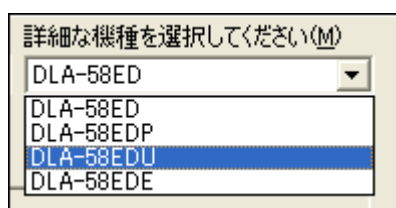
(選択)

「追加するデバイスを選択して下さい」のリストから使用するキャッシュドロアを選択します。



(選択)

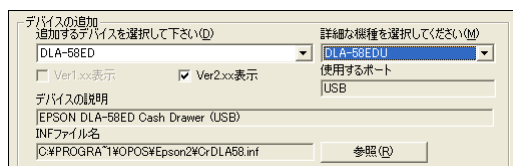
「詳細な機種を選択してください」のリストから詳細な機種を選択します。



この例では、USB に接続された TM-88IV プリンタにキャッシュドロアを接続していますので、USB タイプの DLA-58EDU を選択します。

(確認)

左図のような設定になっています。



論理デバイス名の追加

必要であれば論理デバイス名を設定して下さい(最大16文字)(U)

\* 論理デバイス名は必須ではありません。  
空欄の場合、論理デバイス名は設定されません。  
また、論理デバイス名は後からでも設定できます。

[Unit1]

(入力)

「論理デバイス名の追加」に半角英数字で「Unit1」と入力します。

注意：Uは大文字で、他の nit1 は小文字で入力して下さい。

デバイスの追加 [デバイスの選択]

デバイスの追加  
追加するデバイスを選択して下さい(U) 詳細な機種を選択して下さい(U)

[DLA-68ED] [DLA-68EDU]

☐ Ver1.xx表示 ☒ Ver2.xx表示 使用するポート

[USB]

デバイスの説明  
[EPSON DLA-68ED Cash Drawer (USB)]

INFファイル名  
[C:\PROGRAM FILES\Epson2\Cr DLA68.inf] 参照 (R)

論理デバイス名の追加  
必要であれば論理デバイス名を設定して下さい(最大16文字)(U)

\* 論理デバイス名は必須ではありません。  
空欄の場合、論理デバイス名は設定されません。  
また、論理デバイス名は後からでも設定できます。

[Unit1]

< 戻る (B) > 次へ (N) > キャンセル ヘルプ

(クリック)

「次へ」ボタンをクリックします。

デバイスの追加 [通信設定]

USBポートの設定 (P)

[USB1] 左記ポートを使用中のデバイス (Q)

自動設定 (U) [なし]

ポートの詳細設定

通信速度 (B) [ ] 入力バッファ長 (B) [ ]

ビット長 (U) [ ] 出力バッファ長 (U) [ ]

パリティ (U) [ ] 出力時のインターバルタイム (U) [500] msec

ストップビット (U) [ ] 入力時のスリープタイム (B) [ ] msec

ハンドシェイク (U) [ ]

対話式のCheckHealth (U) デバイス固有の設定 (S)

< 戻る (B) > 終了 (E) キャンセル ヘルプ

デバイスの追加 [通信設定] フォームが表示されます。

USBポートの設定 (P)

USB3

ポートの詳細設定

USB3

USB4

(選択)

ご使用のパソコンの USB ポート番号を設定します。

この説明例では、プリンタを USB に接続して、プリンタにキャッシュドロアを接続していますので、プリンタポートで設定したポート番号を設定します。

USBポートの設定 (P)

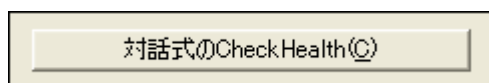
USB3 左記ポートを使用中のデバイス (Q)

自動設定 (U) [POSPrinter¥TM-88IVMU]

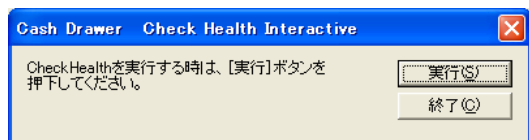
(確認)

左図のようになります。

注意：「左記ポートを使用中のデバイス」のリスト項目は「POSPrinter¥TM-88IVMU」になります。

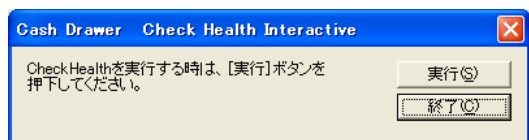


(クリック)  
「対話式の CheckHealth」 ボタンをクリックします。

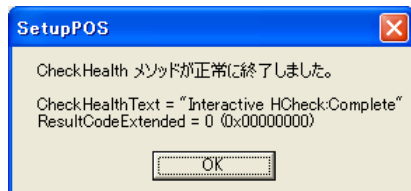


(クリック)  
「実行」 ボタンをクリックします。

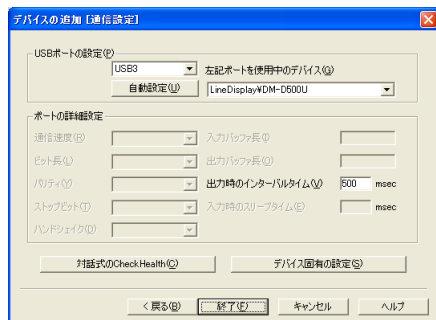
キャッシュドロアの接続と設定が正しく行われていればキャッシュドロアが開きます。



(クリック)  
「終了」 ボタンをクリックします。

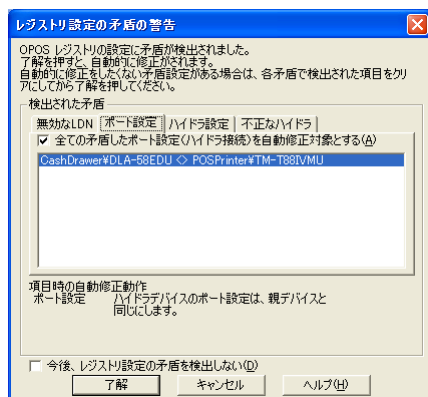


(クリック)  
「OK」 ボタンをクリックします。



(クリック)  
「終了」をクリックします。

注意：必ず「終了」ボタンを押して終了してください。終了ボタンを押さずに、フォーム右上の閉じるボタン「×」でフォームを閉じられますと、設定内容は反映されません。



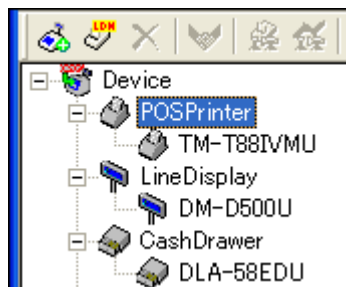
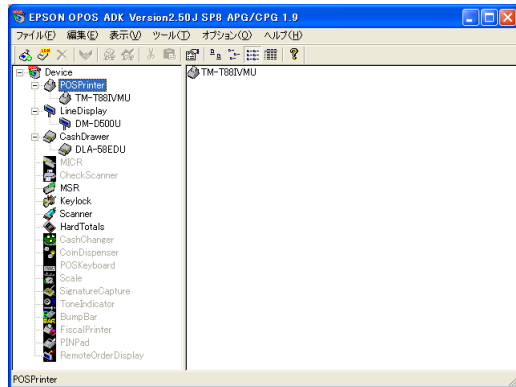
USB 接続の場合、USB レシートプリンタに 2 台以上の OPOS 機器を接続している場合、「レジストリ設定の矛盾の警告」フォームが表示されます。

(クリック)  
「了解」をクリックします。

以上でキャッシュドロアの設定は終了です。

## ラベルプリンタの設定

以下の設定例では、エプソン製のラベルプリンタ **TM-L90** を例にとって設定します。



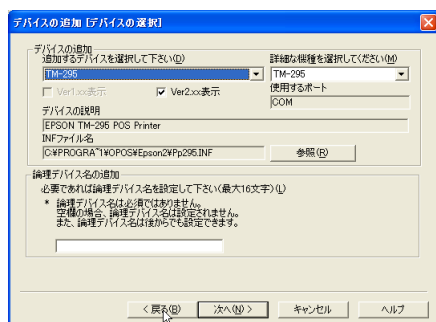
(クリック)

「POSPrinter」をクリックして選択状態にします。

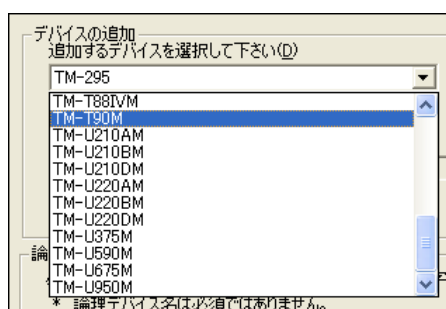


(クリック)

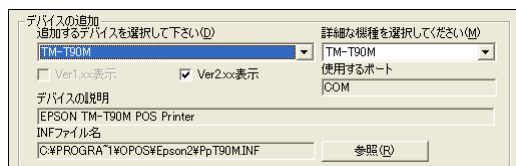
ツールバー上の「デバイスの追加」ボタンをクリックします。



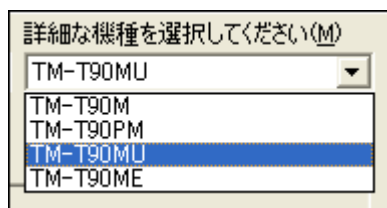
「デバイスの追加 [デバイスの選択]」フォームが表示されます。



(選択)  
「追加するデバイスを選択してください」のリストから使用するラベルプリンタを選択します。

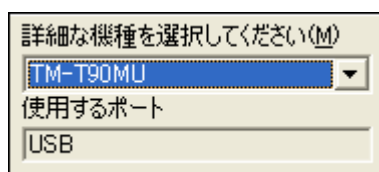


左図のように選択した機種がフォームに反映されます。



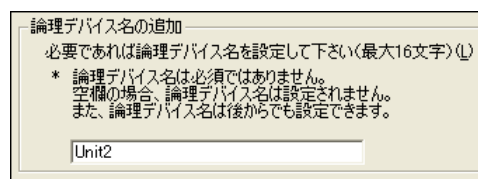
(選択)  
「詳細な機種を選択して下さい」リストから詳細な機種を選択します。

この例で接続する機種は USB 接続ですので、TM-T90MU を選択します。



(確認)  
左図のように使用するポートと接続している機種が同じか確認します。

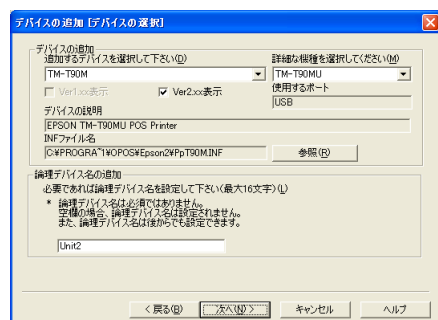




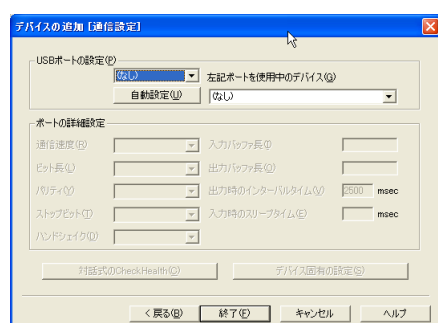
(入力)  
「論理デバイス名の追加」に半角英数字で「Unit2」と入力します。

注意：U は大文字で入力して、後の nit2 は小文字で入力します。

この論理デバイス名は、PosPos のシステム設定と同じ名前を入力して下さい。  
PosPos のシステムを変更していなければ、初期値は「Unit2」となっています。



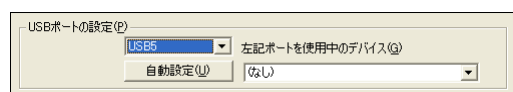
(クリック)  
「次へ」 ボタンをクリックします。

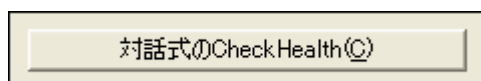


(確認)  
「デバイスの追加 [通信設定]」 フォームが表示されます。

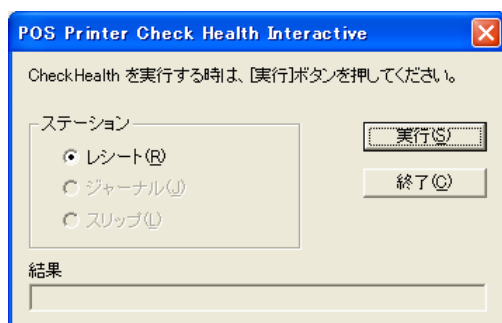


(選択)  
「USB ポートの設定」でポート番号を設定します。

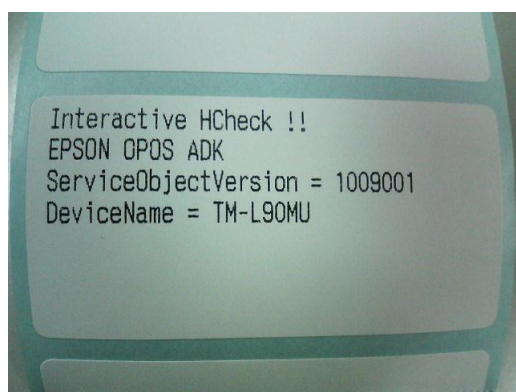




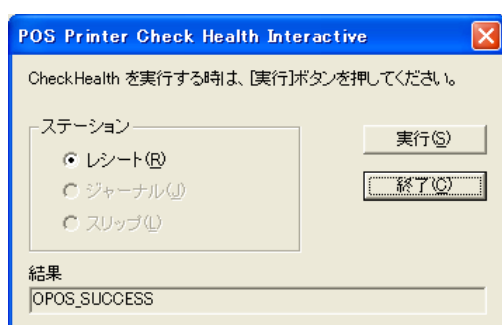
(クリック)  
「対話式の CheckHealth」 ボタンをクリックします。



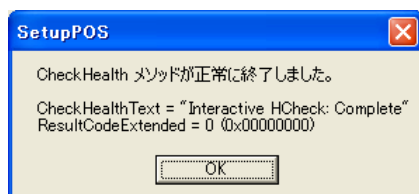
(クリック)  
「実行」 ボタンをクリックします。



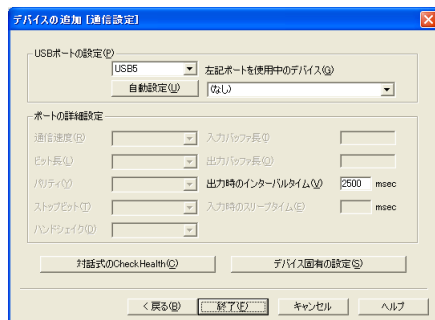
(確認)  
ラベルに左図のように印字されます。



(クリック)  
「終了」 をクリックします。

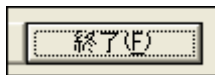


(クリック)  
「OK」 をクリックします。

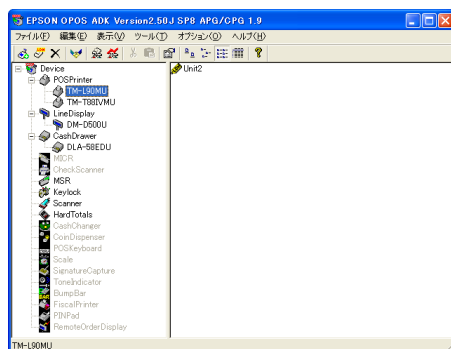


(クリック)  
「終了」をクリックします。

注意：必ず「終了」ボタンを押して終了してください。終了ボタンを押さずに、フォーム右上の閉じるボタン「×」でフォームを閉じられますと、設定内容は反映されません。



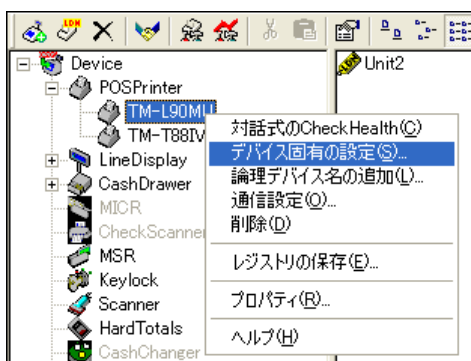
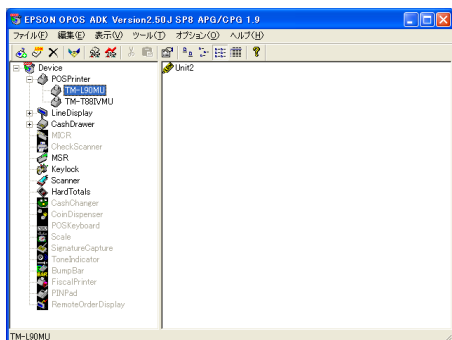
以上でラベルプリンタの設定は終了です。



## 5. TM-L90 の設定について

### TM-L90 のラベル用紙幅の設定

ご使用になるラベルのサイズにあわせて、エプソン製ラベルプリンタ TM-L90 のラベルの幅を設定します。



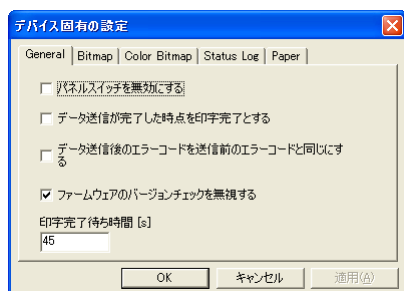
スタートメニュー、すべてのプログラムより、OPOS を選択して、「Setup POS Ver2.0」を起動させます。

(選択)

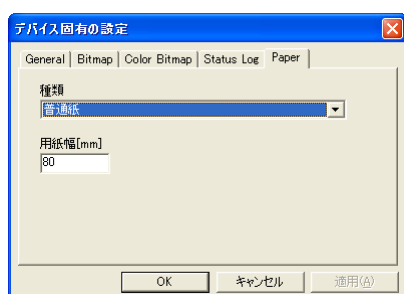
ラベルプリンタ TM-L90 を選択します。

(右クリック)

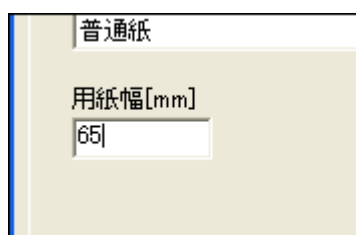
右クリックで、ポップアップメニューを呼び出し、デバイス固有の設定を選択します。



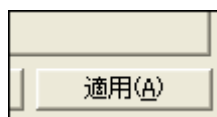
(確認)  
「デバイス固有の設定」フォームが表示されます。



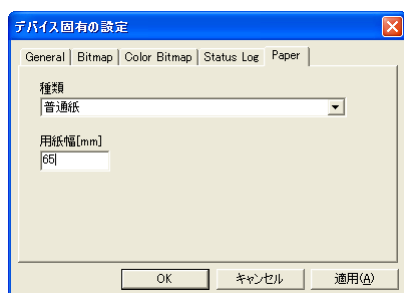
(クリック)  
「Paper」 タグをクリックします。



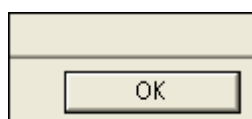
(入力)  
用紙幅を入力します。



(クリック)  
「適用」 ボタンをクリックします。



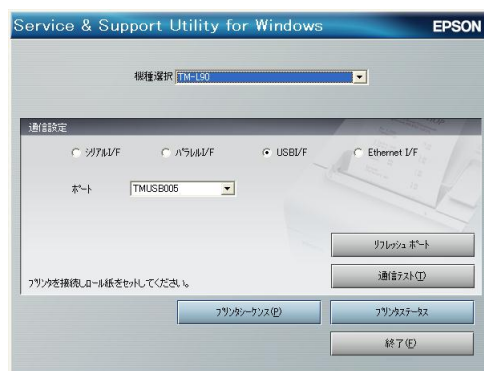
(クリック)  
「OK」 ボタンをクリックします。



## TM-L90 の印刷濃度の設定

インターネットに接続して、[http://www.epson.jp/dl\\_sas/tool/tool\\_index.htm](http://www.epson.jp/dl_sas/tool/tool_index.htm) より、「TM プリンタメモリスイッチ設定ユーティリティ」プログラムをインストールします。

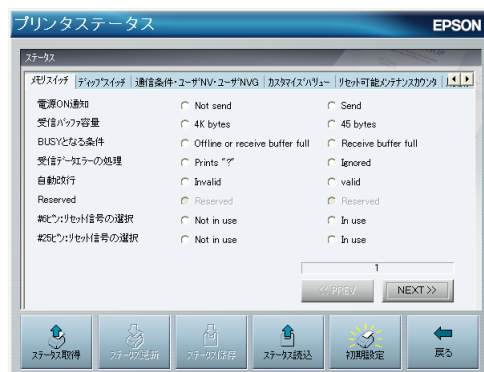
インストール後、スタート すべてのプログラム TMSSUTL を起動させます。



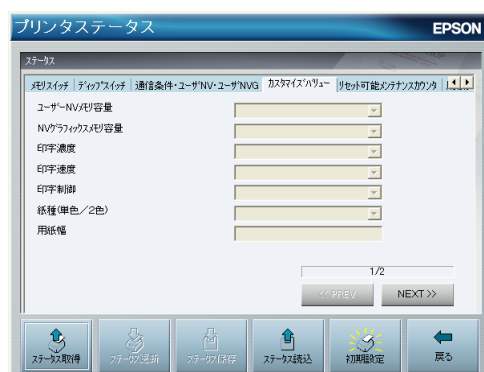
(選択)  
機種選択で接続機種を選択します。

通信設定で、接続先とポートを指定します。

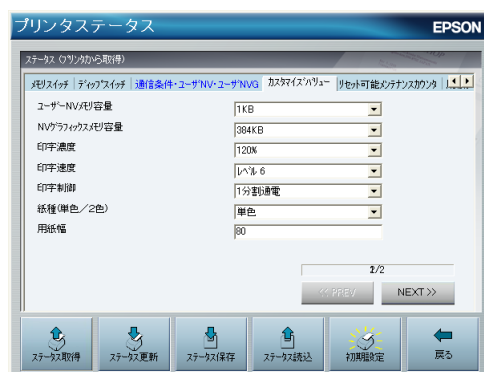
(クリック)  
「プリンタステータス」ボタンをクリックします。



(クリック)  
「カスタマイズバリュー」タブをクリックします。



(クリック)  
「ステータス取得」ボタンをクリックします。



(選択)  
「印刷濃度」で印刷濃度を設定します。

(クリック)  
「ステータス更新」ボタンをクリックします。

以上で印刷濃度の設定は終了です。